



記念講演講師、前川喜平さんを囲んで記念撮影・関東ブロック交流会

八ヶ岳清里高原で「関東ブロックの交流会」 開く、二日目は、前川喜平さんの記念講演も

二年ぶりに一泊で開催...

この間、コロナ禍の下で、時間を取った「交流」が出来ずにいましたが、今年の「関東ブロック交流会」は、「ワクチン三回以上接種」を条件に、コロナ対策も充分とって、山梨県の清里高原で開催しました。

関東各都県から50人近くが参加、埼玉からは8人が参加して二日間にわたって大いに「交流」を深めることができました。また、久しぶりに夕食懇親会も行い、親睦も深め、二日目の閉会後に行った、元文科事務次官の前川喜平さんの記念講演は、予定を超える2時間に及ぶ興味深い講演となり、参加者は大いに聞き入り、有意義な二日間となりました。

〈国会請願三項目〉

- ①国は、治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
- ②国は、治安維持法犠牲者に謝罪し賠償を行うこと
- ③国は、治安維持法による犠牲の実態を調査し、その内容を公表すること

熱心な討論が続く

二日間にわたる討論では、各都県本部からの報告も含めて23人が発言。映画「わが青春つぎ」ともの上映運動やそれと結んだ会員拡大・支部づくり、国会請願署名の取り組みや支部運営の改善、学習や顕彰活動など、悩みや困難も含めて教訓に富んだ発言が続きました。地元山梨からは、二つの支部の代表が揃って登壇。学習を力に、支部だよりを発行するなど、顔の見える支部活動に取り組んでいると、生き生きとした報告などに大きな拍手が送られました。

埼玉からは、6人が発言

埼玉からは、大野辰男事務局長が埼玉県全体の1年間の活動の経験と教訓を発言。最初に、参院選の結果にも触れながら、関東ブロック交流会に向けて埼玉は380名(前

回会議比48名増)の史上最高の峰を11カ月連続更新して迎えた3つの教訓を発言。しかし、その組織的到達は、全国と比較すると、有権者比全国41番目(0.006%)、会員現勢も全国15位とその組織建設の遅れは歴然であり、その打開の力が支部づくりにあると強調しました。

1日目の埼玉からの発言は、加藤ユリ会長が、父親が治安維持法で検挙されたことにも触れながら同盟論を発言し、埼玉県映画上映運動での5千名目標達成まで目前に迫った運動の経験なども紹介。橋本静修理事は、次の会議までに緑区で支部づくりに挑戦する決意や若い世代にどう声をかけるかについて問題提起。渡辺喜久男常任理事は、岩槻支部の支部結成からの経緯に触れ、40名の支部目標達成の教訓を発言。2日目も小室仁弥理事は、「私は89歳ですが同盟に入会後の11年間は人生で最も輝いた時期だった」と振り返り、同盟のメインイベントである国会請願署名行動について発言。福家駿吉常任理事は、6年前に春日部支部結成以後の支部活動をブレずに原則的に進めてきた経験を紹介し、目前の春日部上映会の成功に向けて決意を表明。橋本理事は、2回目の発言にも立って、(2ページへ続く)



「不屈」No581付録
埼玉版 (No409)

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
埼玉県本部

〒330-0063

さいたま市浦和区高砂
2-3-10 黒澤ビル3B

電話・Fax 048-824-0094

✉ chian2022@gmail.com

(1面より続き) ネット活用での問題提起を発言するなど、積極的な交流が行われました。

討論のまとめで、同盟論に注目の声が…

最後に、小松実中央本部副会長が討論のまとめを行い、同盟の運動は、治安維持法犠牲者への謝罪と賠償などを求めるものだが、同時に、今の政治の歪みの根本に戦

争と弾圧の歴史への無反省、それどころかその時代の美化とそこへの回帰の思想があると指摘。いわば、治安維持法体制がきちんと清算されてこなかったという点に、日本の政治の深刻な遅れと歪みがある。そこを課題に、それとたたかうのが同盟であり、そこに同盟の組織的発展が求められる所以があると強調されました。



関ブロ「懇親会」、埼玉からはハーモニカの名演奏も出て盛上げました

も言一私

戦後最大の人権侵害 レットパージを語り継ぐ

権田 圭助 (レッドパージ反対埼玉連絡会)

一九五〇年八月二十六日は、私にとつて忘れられない日です。関東配電(現東京電力)熊谷営業所に勤務していた私に「首切り」が宣告された日です。同じ職場にいた六名が同時に通知を受けました。当時の新聞、ラジオは連日「赤追放」のキャンペーンです。

当時会社では、労組の内部に「民主化同盟」を名乗る一派が、米占領軍や政府、会社側と一体になって、反共の方針を認めたものだけを組合員に再登録するという、全く思想・信条の自由を認めないやり方を進めました。当時は労働組合に加入していない者は従業員として認めない規則がありましたが、私たちは、はげしく団体交渉を行い、再登録を拒否して「電気産業労働組合」の旗を守って闘いました。同時に会社側は、社名を「東京電力」と変更し、会社の名簿には「レットパージ」されたものは載っていないという理由をつけ加えるというひどい企みを押し通しました。

当時の政治状況は、前年の一九四九年には、下山、三鷹、松川事件など謀略事件がおこり、共産党や労組活動家がやったかのような大宣伝が行われ、翌五〇年には、マッカーサーが日本共産党を「民主主義の破壊者」と非難、共産党中央委員の公職追放、アカハタの発行禁止、共産党国会議員追放や全労連が解散させられました。こうしたなかで、重要経営と労働組合からの共産党員と支持者の追放が行われた「レットパージ」は、時の権力が総がかりで行った「戦後最大の人権侵害・弾圧事件」でした。

裁判は長い苦しい運動になりました。最高裁判所まで頑張りましたが「米占領軍の指令」という偽りの理由で敗訴になり残念な思いでしたが、その後、日本弁護士会、埼玉弁護士会が人権侵害だとして政府に名誉回復と国家賠償すべきとの勧告、警告を出してくれ、いまの時代に、レットパージを語り継ぐ大切さを痛感しています。

この度の「県総会」で勇退された、矢島恒夫前会長の「退任あいさつ」を掲載します(編集部)

ご挨拶

第57回県本部総会で会長を加藤ユリさんに交替することが決まりました。

この間にお寄せいただいた、みなさんからのご指導とご協力に厚くお礼申し上げます。

振返つて見ますと、私と国賠同盟との出会いは国会の議員室で、「請願の紹介議員」になる要請に、当時の近藤一雄会長はじめ小口巽事務局長や県同盟の代表の方々にお会いした時です。

議員引退の直後に、同盟の加入を誘われ、自公政権による「戦争する国づくり」が進む中、「再び戦争と暗黒政治を許さない」のスローガンに共鳴し入会しました。当時、西武球場近くの事務所に通い、その後、やと浦和の現在の事務所に移りました。07年の県同盟総会で会長に選出され、以来15年間、中央本部の副会長も兼務し、県本部の役員のみならずや会員のみなさんのご支援によつて何とかその職を務めることができました。重ねて厚くお礼申し上げます。

二年後には、県本部創立50周年を迎えます。各種記念行事の成功を心から願うと同時に、第40回全国大会での決定事項の実践と県同盟の一層の発展と会員のみなさんのご健勝を、ご祈念申上げてご挨拶と致します。

2022年10月25日

矢島 恒夫

事件探訪 秩父墓碑

第14回

大野喜十郎の墓碑

篠田 健一



一九七二年一〇月、吉田町振興会館(役場)で「秩父事件八八周年記念集会が開かれた。遺族二三人と五〇〇余名が参加した。遺族の出席と事件蜂起の地で開かれた初めての大会だった。主催は埼玉県歴教協・埼玉県歴教協秩父支部・秩父教育の会である。

きない哀れな先祖です」とあった。茂富さんによると、当時親戚の者が東馬流に死体の確認に行つたが、家族や親戚にふりかかる弾圧を考えて、死体を引き取らなかつたという。茂富さんの父木平は、一度は東馬流行きたいと語っていたが、その願いは叶わなかつた。その父から、いつか墓参に行くようにと言われていた。

集会の翌年、埼玉県歴教協秩父支部は夏に信州フィールドワークを実施し、大野茂富さんを誘った。東馬流の「秩父暴徒戦死者之墓」の前で、茂富さんは線香をあげて黙祷し、その土を持ち帰った。実に八九年目の墓参であつた。

茂富さんは信州から帰ると、持ちかえつた東馬流の土を自然石の喜十郎の墓に埋めた。やがて墓地を整理し、新しい「先祖代々」の墓を建てた。それが現在の墓碑である。

【交通】秩父鉄道長瀨駅より風布の蕪木(かぶらぎ)まで徒歩で約60分。

熱風

テレビのチャンネルをまわすと連日の様にロシアのウクライナ侵攻のニュースが飛び込んでくる

ドローン攻撃による火力発電所、住宅等瓦礫の山で目を覆いたくなる。ウクライナの首都ハリキウの地下ホームには、一部住民がガス、電気を節約しながら不自由な避難生活を送っている▼ウクライナは、日本も小麦、トウモロコシを輸入している世界でも有数の穀物生産国である。また、国花はひまわり、国旗は青と黄の鮮やかな二色旗で平和で自然豊かな国民性を表している。一日も早くウクライナに自由と平和を取り戻さなくてはならない▼最近、プーチンは、「ダム爆破」や「汚い爆弾」攻撃など新たな脅迫戦術に出て、何とかウクライナの反攻作戦の勢いを削ぐ瀬戸際戦略を取っているが、いま重要なのは、国際社会と関係国、国際・地域機関が、「ウクライナの主権と領土保全の尊重」を前提としつつ、紛争のエスカレートを抑え、人道危機を打開するために最大限の外交努力を強めることである。そして、国際世論を背景に、国連憲章の原則にもとづく平和的・政治的解決に向け、国連が主導して外交努力を強化すること強く求めたい。(森)

同盟文芸



短歌

函館のイカ漁激減のニュースなり
イカ消える食卓海中に何が
海水の温度の上昇えさ不足に
タコ己の足食らうはめとは

川口市 宮地 さか枝

俳句

秋雨や宝石無数茶葉の裏
長き雨ようよう止んで天高く

春日部市 浅子 薫衣

秋桜一期一会と輝けり

行田市 大野 辰男

身にしむや妻子の支え病む吾は

さいたま市 小池 莊市

川柳

カルトとのズブズブ自民の代名詞
暮れに向け戦支度を急ぐ自公

春日部市 福家 駿吉

*初心者歓迎、原稿は毎月25日迄に

会員のみなさま、「年末諸課題」の達成にご協力下さい。

早いもので今年もあと1カ月余を残すこととなりました。会員のみなさまには、年末にあたり「会長の訴え」も出してお願ひしておりますが、是非ご協力ください。

1, 2022年度会費納入の促進
前納も含めお願いします。
2, 1口千円規模の「年末募金」にご協力下さい。

3, 「不屈」新年祝賀広告(1口五千円)の応募にご協力下さい。

4, 「治安維持法と現代」秋季号が出来ました。「定期購読」希望者募集中。

※「国会請願署名運動」・年内節目標4割達成にご協力ください。

来年の国会請願は50回目的の「請願行動」です。埼玉県は1万筆の目標達成めざして取り組んでいます。いま、県本部は手分けして諸団体への申入れ活動を行っています。

ますが、達成の力ギは会員のみなさんの10筆、20筆の取組みにかかっています。宜しくお願いします。



写真は連日の様に県本部へ届き始めた署名の封筒

映画「わが青春つぎふ」も「上映運動」埼玉県、当初目標5千人を突破！更に全県的広がりをつくらう

映画「わが青春つぎふ」とも「上映運動」も順調に進み、9月以降、富士見309人、上尾360人、戸田207人、三郷・吉川325人、そして、10月30日開催の春日部市での上映会には250名が入場。これでは、埼玉県での鑑賞者は、累計18会場5137人となり、県が掲げて来た「30ヶ所5千人」の目標は、鑑賞者数では突破することができました。此れ迄の関係者のご努力に感謝します。

しかし、「うちの地域は何時やるの？」との声が多々聞こえます。現在、引き続き「上映会」の具体化が進んでいます。更に検討を重ねて、来年に向けた全県的な「上映運動」の広がりを作って参りましょう。

新加入同盟員紹介 2名

高野 靖子 熊谷市
田添 良夫 行田市

国会請願署名推進コーナー

【個人署名】 (259筆)

富樫李花 (南区)	4筆
大金正三 (北区)	13筆
金子信男 (川口市)	10筆
宮地さか枝 (川口市)	20筆
阿久津武雄 (川口市)	10筆
北村純一 (川口市)	7筆
佐藤俊也 (東松山市)	5筆
木村邦三 (入間市)	5筆
石塚省吾 (朝霞市)	1筆
島村みき子 (蓮田市)	15筆
三郷・吉川映画上映会	14筆
春日部上映会	25筆
日本共産党北部地区	61筆
同 東部南地区	10筆
同 中部地区	20筆
国賠同盟 岩槻支部	10筆
同 行田・羽生支部	29筆

【団体署名】 (4団体)

たぞえ葬祭、共産党豊野支部、同 熊谷南支部、同 長瀬支部
署名合計 (10月末現在)
個人署名 815筆
団体署名 10筆

募金ありがとうございます

浅子薫衣、白井フミ子、川辺敏雄、松下裕、林秀洋、飯塚頼夫、矢島

訃報

本山 豊さん (82歳)

9月30日逝去。さいたま市南区居住。埼玉土建一般労働組合専従役員、さいたま住宅生活協同組合理事、日本共産党埼玉県後援会役員などを歴任。「国賠同盟」には、2006年に入会。現在まで、埼玉県本部常任理事として組織部担当で支部づくりに奮闘されました。

心からご冥福をお祈りいたします。

事務局だより

不便をおかけしていましたが、県本部の電話・ファックスが新しくなりました。番号は同じ048-824-0094です。

県本部のメールアドレスを新設しました。ご利用ください。
chian2022@gmail.com

